

教職センターだより

2021年2月5日 第6号
相模女子大学教職センター発行

2020年度卒業生と在校生との交流会

1月30日（土）に、今年度の「卒業生と在校生との交流会」が行われました。この取り組みは、教職センター設立以来、毎年行っている活動で、これまで相模女子大学を卒業し、保育や教育の世界で働いている先輩達をお招きして、仕事の内容ややりがい、大学生へのメッセージなどを話していただく会です。いつもは2部構成で、前半は職種代表者の講話、後半は職種に分かれての座談会を行っていましたが、コロナ禍で2回目の非常事態宣言が出されている中での開催ということもあり、ZOOMを使ったオンラインでの開催となりました。発表者は自宅で話し、それを教職センターで参加者全員に配信するという形で行いました。教職員、卒業生、現役学生合わせて29名の参加がありました。



最初に風間学長と吉岡センター長より挨拶をいただき、田口先生の進行により4名の発表者が話していました。今回、保育園、小学校、中学校、学校栄養職の代表として話してくれた4名は、くしくも全員が2018年度卒業の社会人2年目ということで、フレッシュさを失わずに社会人としての経験も積み重ね初めていて、全員がすばらしい話でした。現場はとてもなく忙しく、その上にコロナ禍での対応もあり、大変さが伝わってきましたが、それ以上に発表者の生き生きとした表情や話しぶりから、子どもの成長が嬉しくてたまらないという気持ちが表れていて、保育士や教師、栄養食を目指す学生達に希望や期待感をもたらしてくれました。

それぞれの発表のあと、質問タイムを設けたのですが、次々出された質問に発表者が丁寧に答え、質問者はもちろんのこと、聞いている人も満足しているようでした。最後に、教職センターの先生方からの感想もあり、初めてのオンライン形式の交流会は充実したものとなりました。この交流会は開催にあたり、「卒業生からのメッセージ集」を作成しています。発表者以外の先輩達の、後輩への思いが詰まった文集であり、教職センターで配布しているので、是非目を通してくださいたいと思います。

